栃木県立栃木高等学校　校長室通信

「栃高の日」新聞　第25号

発行者：校長　大橋芳樹　　発行日：平成30年４月17日（火）

本年度も「とことんチャレンジ」だ！

１学期の始業式にも話をしたように、私が一昨年４月に栃高校長として赴任した時に始めた「チャレンジ」をキーワードとした取組を継続し、さらに浸透させていきたいと考えています。生徒諸君には、自分でも気が付いていないような多くの才能が埋もれています。自分で蓋をしてしまったり、壁を設けてしまって、埋もれたままにしておくのは、大変にもったいないことです。いつも話しているように、自分の苦手なことや嫌いなことにも積極的に「チャレンジ」することを通して、自分の中に埋もれている才能を発掘し、磨きをかけてください。

①「毎月17日は『栃高の日』」

栃高の「とち」の読みにちなみ、「と」は「とお」で「十」、「ち」は中国語の「チー」で「七」ということで、毎月17日を『栃高の日』としました。

②「『栃高の日』は『とことんチャレンジ』」

①と同様に、栃高の「とち」の読みにちなみ、「と」は「とことん」、「ち」は「チャレンジ」ということで、『栃高の日』をその日にある様々なことから１つ選んで『とことんチャレンジ』する日としました。部活動でも、授業でも、試験でも、趣味のピアノでも、特技の英会話でも、何でも結構です。とことんやってみましょう。また、1日の終わりに自己評価をしよう。

③「生徒諸君！チャレンジしてますか！」

昨年度と同様、生徒諸君の前で話をするときの初めの合言葉とします。１年生諸君も、早く慣れて大きな声で「オー！」などと返してください。校長と生徒諸君が交わすあいさつだと考えてください。

④校長のチャレンジとして『栃高の日』に「校長室通信　『栃高の日』新聞」を発行

毎月17日の『栃高の日』の校長のチャレンジとして、この「校長室通信　『栃高の日』新聞」を発行します。生徒諸君の活躍の様子や校長の考えや思いなどを発信していきます。必ず家に持ち帰り保護者の方にも読んでもらってください。また、本校のホームページにも掲載し、栃高のPRにも利用しています。

栃高の2018年度大学入試合格概況

本年度の大学入試においても栃高の生徒諸君は大変頑張りました。裏面に関東１都６県で東京大合格者を１名でも出した都県立の高校等における難関大学合格状況を掲載しました。栃高は、東京大４名（現役３名、浪人１名）、京都大２名（浪人２名）、東工大１名、北海道大４名（現役２名、浪人２名）、東北大23名（現役17名、浪人６名）、大阪大１名、名古屋大１名、難関国立10大学合計36名、国公立大学医学部医学科６名（浪人６名：東北大２名、筑波大１名、群馬大１名、旭川医大１名、福島県立医大１名）と、大変健闘しました。また、浪人生が高い志をあきらめることなく難関国立大学や国公立大学医学部医学科合格を勝ち取ったのは、大変立派でした。昨年度の卒業生にも残念ながら志望校合格に至らず浪人した者がいますが、2019年度の大学入試ではリベンジを果たせるよう祈っています。在校生諸君も先輩たちの勢いに乗って、さらに大学合格実績を伸ばしていただきたいと思います。

＊＊「日本語って難しい！」①＊＊

「ぞっとする」と「ぞっとしない」

「ぞっと」は副詞で、「①寒さや恐怖などのために、また、②強い感動を受けて、からだが震え上がるさま」を表します。「ぞっとする」は①の肯定の「恐怖を感じる」ことを意味する言葉ですが、一方「ぞっとしない」は②の否定の「面白くない」とか「感心しない」ということを本来意味する言葉です。しかし、特に若い世代では、「ぞっとする」の否定形と考え「恐ろしくない」という意味の言葉だと捉えている人が多いようです。実際に、文化庁行った平成28年度「国語に関する世論調査」においても、本来の意味とされる「面白くない」と回答した割合が22.8%に対して、本来の意味ではない「恐ろしくない」と回答した割合が56.1%と、圧倒的に多くなっています。

＊＊「世界三大○○」シリーズ第１弾＊＊

「世界三大○○」シリーズ第１弾は、生徒諸君もよくご存じの「世界三大珍味」の話しです。「世界三大珍味」とは、「キャビア」、「トリュフ」、「フォアグラ」のことです。どれも一応食べたことはありますが、味がはっきり分かる程食べたわけではないので、残念ながら味を思い出すことができせません。どれも、目玉が飛び出るほど高額なのは間違いありません。

＜キャビア＞チョウザメの卵の塩漬け。オードブルなどで供される高級食材である。主な産地はロシアで、特にカスピ海とアムール川が有名。ベルーガ（オオチョウザメ）、オシェトラ（ロシアチョウザメとシップチョウザメ）、セヴルーガ（ホシチョウザメ）などの種類がいる。種類によって卵の粒の大きさとブランド価値が異なる。

＜トリュフ＞セイヨウショウロ科セイヨウショウロ属に属するきのこの子実体。かさ・ひだ・柄を欠き、ゆがんだ塊状。成熟するに伴い、特有の芳香を発する。高級食材で、「黒いダイヤ」とも呼ばれる。フランス産の黒トリュフとイタリア産の白トリュフが特に珍重される。トリュフを探すのに雌豚や訓練されたトリュフ犬を用いる。

＜フォアグラ＞ガチョウやアヒルなどに、蒸したトウモロコシを漏斗で胃に詰め込む“ガヴァージュ”と呼ばれる強制給餌を一日に３回行い、肝臓を脂肪肝にすることで得る。濃厚な味であり、フランス料理の高級食材の一つ。現在では動物愛護や動物の権利論の高まりなどから、生産者や消費者に対する風当たりが強くなってきている。

＊＊「贈る言葉」①＊＊

「まくとぅそーけー、なんくるないさ」

私の好きな沖縄の方言です。今は「なんくるないさ」は「何とかなるさ」という楽観的な軽い意味で用いられていますが、本来は「まくとぅそーけー、なんくるないさ」という定型句で用い、「人として正しい行いをしていれば、自然とあるべき様になるものだ」という意味を持つ言葉で、「人事を尽くして天命を待つ」と似た意味の言葉です。「やることはやって、後は自然の成り行きに任せる」という意味なのです。本来の意味を知ると、少し哲学的というのがいいのか、宗教的というのがいいのか、深い意味合いの言葉なのです。

「栃高の日」は「とことんチャレンジ」

４月の「栃高の日」は、私は
【　　】
にチャレンジします！

＊【　　】の中に自分で選んだものを書き入れよう！

チャレンジ満足度［ **５ ・ ４ ・ ３ ・ ２ ・ １** ］

＊一日を振り返って、チャレンジ満足度を５段階で自己評価しよう！